北海道ストーリー

2023.12.28

レールが語る開拓史 ―冬のリゾート、ニセコの系譜【前編】

パウダースノーを求めて世界中から人が集まってきたニセコ。

冬がよく知られますが、オールシーズンリゾートの顔になるまでには、

開発度とともに、ドラマ一度分。

この人物を知ってから、観光開発の歴史が「面」で見えるようになり、

冬場の観光客数が、

ピークの5倍ペースで伸びていったのです。

ニセコのあとに開発されたところもいくつかあるが、

ニセコのほうが圧倒的に先をいっている。

#1. 可能性の不可視化

ニセコ地域の冬の風景。一面の雪原と、遠くに連なる山々。この景色が、観光資源として認識されるまでには、長い時間が必要だった。

夏とのリゾートを開発して

オールシーズンリゾートが、世界ランキングトップクラスの人気を誇っているニセコ。

ここ、ほんの数年前までは、夏のリゾートとして、ニセコ地域の観光客は、

ピークの半分以下。

そもそもニセコ地域は、温泉地やスキーの冬場のイメージしかなかった。

夏場の観光は、ほぼ、ゴルフ場のみ。

ゴルフ場の利用者数が、一番多い夏場でも、ピーク時の半分以下。

ホテルの稼働率は、10%にも満たない。

ホテルの稼働率が、ピークの半分以下。

ホテルの稼働率が